

進路だより

いわき支援学校くぼた校
進路指導グループ
<第20号>
令和4年3月18日発行

れいわ ねんどしんろどうこう
令和3年度進路動向

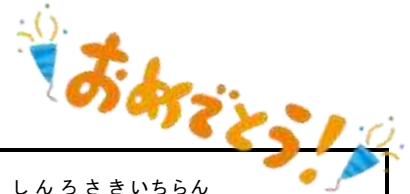


※生徒のみなさんも読んでみよう!

3月1日(火)くぼた校の卒業式が行われました。新型コロナウイルス感染症により、いつもと違う雰囲気の中での卒業式でしたが、無事に11名がくぼた校を巣立っていきました。

卒業生11名は、以下の進路先でこれからの新しい生活を始めようとしています。

1・2学年の皆さんも、卒業後の進路に向けて春休み中に家族で話し合う機会をもち、4月からの学校生活に備えて欲しいと思います。



令和3年度 いわき支援学校くぼた校 進路先一覧

しゅべつ 種別	じぎょうしょめい 事業所名	にんずう 人数
きぎょう 企業	かぶしきがいしゃ 株式会社マルト	めい 2名
	ふくしま JA福島さくらファーマーズマーケットいがっぺ	めい 1名
	おな はませいれんじょ 小名浜製錬所	めい 1名
	かぶしきがいしゃ 株式会社さんしゃいんクレハ	めい 2名
がた B型	てんしんあん 天真庵	めい 1名
	みなみテラス	めい 2名
その他		めい 2名

そつぎょうご せいかつ 卒業後の生活について

くぼた校では、「卒業後の生活を考える会」を実施し、卒業生から「進路実現に向けて取り組んだこと」や「働くとはなにか」について、実際にお話をさせていただいています。

今年、ヤマト運輸株式会社いわき小名浜センターに勤務している高木裕介さん(平成30年度卒)を講師としてお招きし、お話をさせていただきました。ぜひ、今後の進路実現に向けて、参考にして欲しいと思います。

高木 裕介さん (平成30年度卒)

在学中は工芸班に所属。

就労に向けて産業現場等における実習を積み重ね、働く力を身に付け就職しました。

<高木さんの講話より>

Q 働いてから頑張ったことはなんですか？

A、働いてから大変だったことは、与えられた仕事をしっかりやることです。

1日の仕事の流れが分からず、慣れるまで大変だったことです。現在は仕事にも慣れてきました。

Q 働いてから辛かったことはなんですか？

A、働いてから辛かったことは、重い荷物運ぶことです。お客様の荷物なので丁寧に運んでいます。

また、12月などの繁忙期は、とても忙しく、いつもとは違うので変化に慣れることが大変でした。

Q 働き続けるために必要な力を教えてください。

A、働き続けるために必要な力は、挨拶と報告です。授業の中でもよく言われることだと思いますが、私は、この挨拶・報告がとても大切であり、必要な力だと思います。

ヤマト運輸にきてくれたお客さまもそうですが、ドライバーさんを含めて、会社にもたくさんの方がいます。もともと挨拶が苦手でしたが、今では目を見て挨拶することができるようになりました。

また、働き続けるためには、自分で楽しみをもつことも必要だと思います。楽しみがあることで仕事もより一層頑張ることができるからです。

Q 後輩に伝えたいことを教えてください。

A、後輩に伝えたいことは、臨機応変に対応することです。働き始めてから、考えていなかった

ことや、いきなり仕事が変わることが多いです。その中でもやらなければいけないし、みんなで

協力しなければならないことをみなさんに伝えたいと思います。また、職場では、信頼関係が大切になってきます。

